

履修方法・修了要件

人間総合科学研究科 看護科学専攻(博士前期課程)

【履修方法・修了要件】

平成31年度以前入学者用

		看護科学	
科目区分	科目群	条件又は科目名等	修得単位数
専門基礎科目	専攻共通科目	必修 「看護科学論」(2単位)	必修科目2単位を含む8単位以上
		「看護コミュニケーション論」(2単位)「看護コンサルテーション論」(2単位)「看護学研究法」(3単位)、「保健統計学」(2単位)、「国際看護学」(2単位)、「看護倫理学」(2単位)、「看護教育論」(2単位)、「フィジカルアセスメント」(2単位)、「病態生理学」(2単位)、「臨床薬理学」(2単位)、「看護教育学」(2単位)、「地域母子保健」(1単位)、「女性と健康」(2単位)、「生殖生命倫理学」(2単位)、「女性の精神保健学」(1単位)、「周産期のフィジカルアセスメント」(1単位)	
専門科目	専門科目	専門科目のうちから各自の専門研究領域の「特論」と「演習」各2単位を含む	8単位以上
	専攻共通科目	選択必修 「インターンシップ」(2単位) 「看護科学特別実習」(2単位) 必修 「看護科学特別研究」(4単位)	6単位
		修了単位数	30単位以上

・他専攻、他研究科の開講科目、大学院共通科目のうち、6単位を上限として、修了要件単位として認定できることとする。ただし、事前に指導教員の承諾を得ること。

・日本看護系大学協議会が定める専門看護師教育課程基準に則した科目(備考欄にCNS共通科目またはCNS専門科目と記載されているもの)の必要修得単位数は、CNS共通科目A:8単位以上、共通科目B:6単位。CNS専門科目:24単位以上(実習10単位以上を含む)の計38単位以上である。

※看護科学専攻履修モデル(CNS履修モデル含む)は別紙のとおり

【修了要件】

2年以上在学し、授業科目について所定の単位を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

H31以前入学者 看護科学専攻履修モデル

区分	単位数	看護科学	専門看護師(CNS)				CNS教育課程において必要な修得単位数	助産課程	助産課程において必要な修得単位数
			がん	慢性	精神	家族			
専門基礎科目	看護科学論	2	●	●A	●A	●A	●A	●	専門基礎科目:必修を含む19単位以上
	看護コミュニケーション論	2						■	
	看護コンサルテーション論	2						○	
	看護学研究法	3		●A	●A	●A	●A	○	
	保健統計学	2		○A	○A	○A	○A	○	
	国際看護学	2						○	
	看護倫理学	2		○A	○A	○A	○A		
	看護教育論	2		○A	○A	○A	○A		
	フィジカルアセスメント	2		○B	○B	○B	○B		
	病態生理学	2		○B	○B	○B	○B		
	臨床薬理学	2		○B	○B	○B	○B		
	看護教育学	2						○	
	地域母子保健論	1						■	
	女性と健康	2						■	
	女性の精神保健学	1						■	
生殖生命倫理学	2						■		
周産期のフィジカルアセスメント	1						■		
専門科目	ウイメンズヘルス看護学特論	2						○	専門科目:専門領域の特論と演習各2単位および必修を含む33単位以上
	ウイメンズヘルス看護学演習 I	2						○	
	ウイメンズヘルス看護学演習 II	2						○	
	ウイメンズヘルス看護学演習 III	3						○	
	ウイメンズヘルス看護学演習 IV	3						○	
	助産学特論 I	2						■	
	助産学演習 I	2						■	
	助産学特論 II	2						■	
	助産学演習 II	2						■	
	助産学特論 III	1						■	
	助産学演習 III	1						■	
	助産学実習 I	8						■	
	助産学実習 II	3						■	
	家族看護トランスレーショナル・リサーチ演習	2					○	○	
	発達支援看護学特論	2							
	発達支援看護学演習	2							
	家族看護学特論	2					○		
	家族看護学演習	2					○		
	養育期家族援助学	2					○		
	家族生活アセスメント学	2					○		
	家族アセスメント/インターベンション学	2					○		
	家族看護実践学	2					○		
	家族看護学基盤実習	2					○		
	家族看護学展開実習	4					○		
	家族看護学統合実習	2					○		
	国際発達ケア特論	2							
	国際発達ケア演習	2							
	がん看護学特論 I	2		○G					
	がん看護学特論 II	2		○G					
	がん看護学特論 III	2		○S					
	基礎腫瘍学特論	1		○G					
	臨床腫瘍学特論	1		○G					
	緩和ケア特論	2		○S					
	がん看護学演習 I	2		○S					
	がん看護学演習 II	2		○S					
	がん看護学実習 I	2		○C					
	がん看護学実習 II	4		○C					
	がん看護学実習 III	2		○C					
	精神保健看護学特論	2					○		
	精神保健看護学演習	2					○		
	精神看護学特論 I	2					○		
	精神看護学特論 II	2					○		
	精神看護学特論 III	2					○		
	精神看護学演習 I	2					○		
	精神看護学演習 II	2					○		
精神看護学実習 I	4					○			
精神看護学実習 II	4					○			
地域健康・公衆衛生看護学特論	2								
地域健康・公衆衛生看護学演習	2								
国際看護学特論	2								
国際看護学演習	2								
療養調整看護学特論	2								
療養調整看護学演習	2								
慢性看護学 I 特論	2					○			
慢性看護学 II 特論・演習	2					○			
慢性看護学 III 特論	2					○			
慢性看護学 III 演習	2					○			
慢性看護学 IV 特論	2					○			
慢性看護学 V 特論	2					○			
慢性看護学 V 演習	2					○			
慢性看護学実習 I	4					○			
慢性看護学実習 II	4					○			
インターンシップ	2	選択							
看護科学特別実習	2	●	○	○	○	○		実習:2単位	
看護科学特別研究	4	●	●	●	●	●		●	
修了単位数合計	30					42		58	
						単位以上			

注1: 専門看護師および助産師の教育課程としての指定科目は表中の○印で示す。

注2: ●専攻必修科目

注3: ○印横のアルファベットは専門看護師の各専門分野における科目の種類を示す。

注4: 別途、看護科学専攻前期博士課程が定める履修方法に従って修了要件を満たすことが必要。

注5: ■助産師課程必修科目

※がん看護専門看護師養成課程の正規の単位数を修得した者は、関東がん医療人養成拠点プログラムにおける包括的ライフステージサポートコース(看護)を修了したものと認められます。